

えさしちょう

北海道枝幸町で酪農を

はじめてみませんか

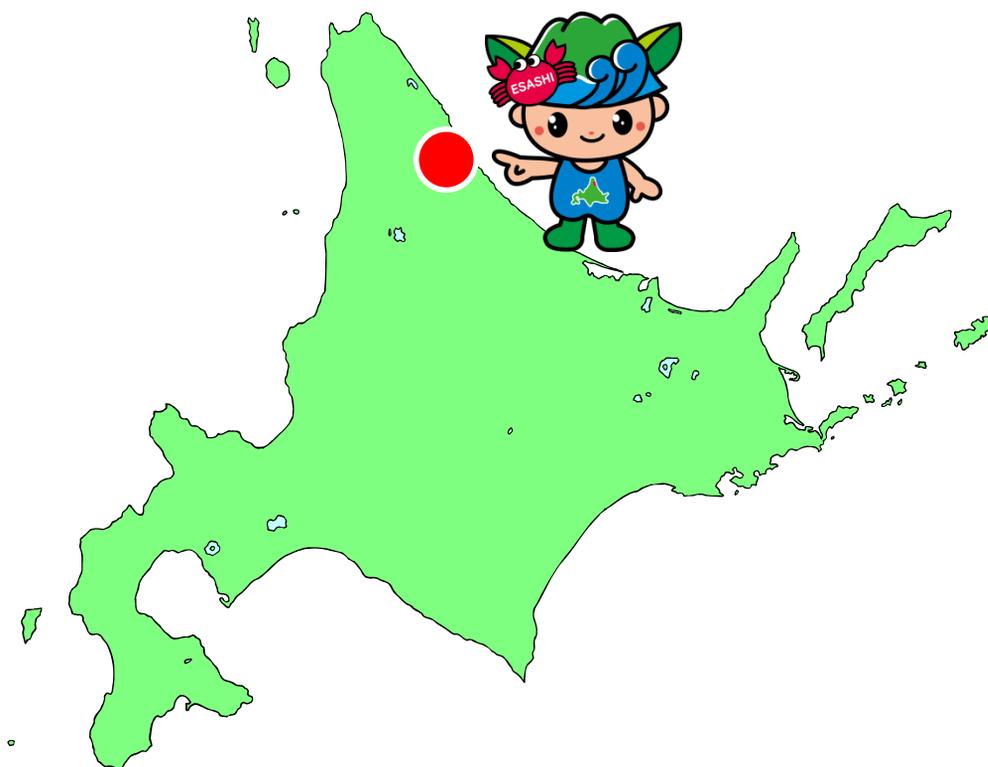


枝幸町はどんなまち

枝幸町は、平成18年3月20日に枝幸町と歌登町が合併し、新「枝幸町」が誕生しました。

人口は、約8,100人と小さな町ですが、北海道の市町村で9番目、町としては全国で5番目に面積が大きく、札幌市とほぼ変わらない面積となっています。

酪農を中心とした農業のほか、雄大なオホーツク海が育む毛ガニ、鮭、ホタテ漁などの漁業、町の面積の約8割を占める森林資源を活かした林業など1次産業が盛んな町です。



枝幸町で就農すると

- ◆町・農業委員会・宗谷南農協・農業改良普及センターをはじめとした農業関係団体が連携し、全面的に応援します。
- ◆就農を開始した年度から総額で最高1,000万円を限度に、乳量に応じて5年間にわたり奨励金を交付します。 ※条件あり
- ◆農業次世代人材投資資金交付や利子助成など国や北海道の施策が受けられます。 ※条件あり
- ◆酪農ヘルパー事業の利用によるゆとりある農家生活が送れます。
- ◆コントラクター事業を活用し、「土づくり」「牧草収穫」などをバックアップします。
- ◆公共育成牧場に哺育・育成牛を預託することにより、搾乳に特化した経営が行えます。
- ◆豊かな自然が育んだ美味しい食べ物が待っています。

枝幸町の新規・移転就農は

枝幸町の新規就農状況は、平成11年から21名が就農され、道内はもとより道外からも多く、前職も様々です。

また、令和4年度には他の市町村より当町へ新たに2組が就農されています。

現在は、2組の方が就農に向け研修中であり、独立し安定した経営を行うために、飼養技術や経営方法などを学んでいます。

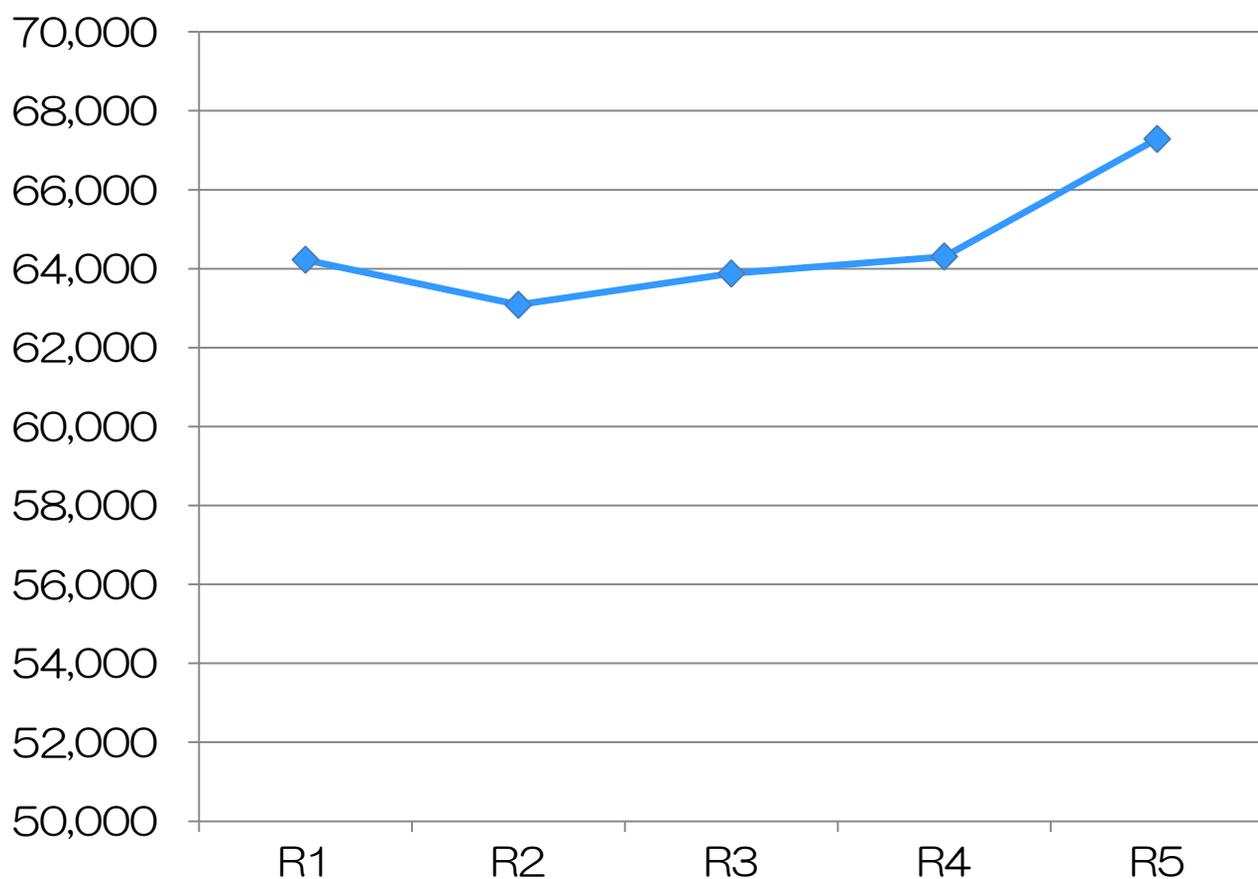
～実際に就農した仲間たち～



酪農家戸数及び畜産物販売高

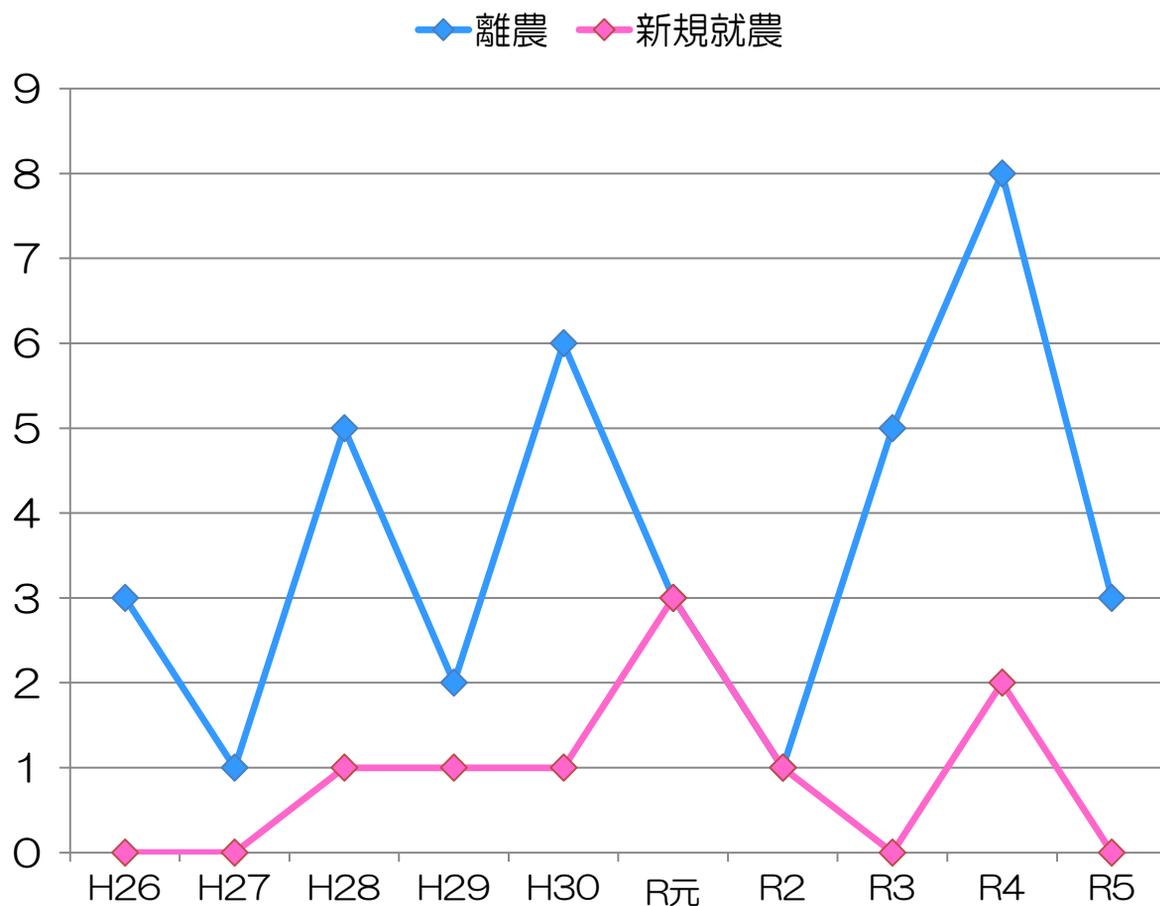
年度	R1	R2	R3	R4	R5
販売高実績 (単位：千円)	6,871,836	6,750,302	6,643,034	6,430,501	6,392,201
酪農家戸数 (単位：戸数)	107	107	102	96	95
一戸当り販売高 (単位：千円)	64,223	63,087	63,876	64,305	67,286

◆ 一戸当り販売高



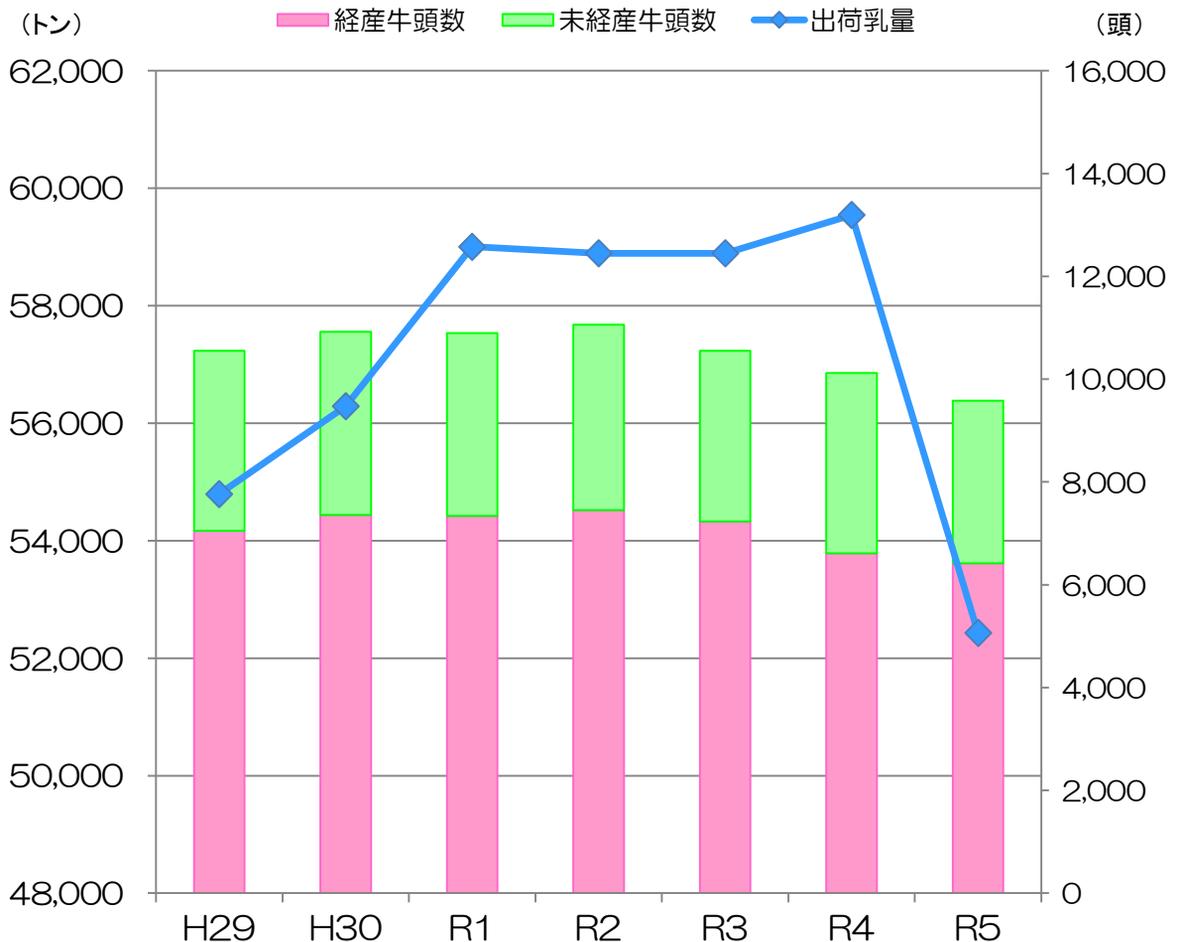
離農及び新規就農の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
離農	3	1	5	2	6	3	1	5	8	3
新規就農	0	0	1	1	1	3	1	0	2	0



乳量及び飼養頭数

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出荷乳量	54,795	56,290	59,006	58,894	58,894	59,546	52,429
総飼養頭数	10,555	10,924	10,894	11,057	10,553	10,121	9,581
うち経産牛	7,049	7,356	7,339	7,453	7,233	6,609	6,415



新規・移転就農状況①

就農年次	出身地	研修歴 (年)	従業員歴 (年)	ヘルパー歴 (年)
H11	北海道 千歳市	2		
H11	神奈川県	2		
H13	北海道 札幌市	2		
H14	富山県	2		
H15	東京都	2		
H15	京都府			3
H16	埼玉県	1		4
H19	北海道 浜頓別町	2		
H20	広島県		6	
H21	京都府		2	2
H24	神奈川県	2	7	8
H25	埼玉県		5	3

新規・移転就農状況②

就農年次	出身地	研修歴 (年)	従業員歴 (年)	ヘルパー歴 (年)
H25	北海道 枝幸町		5	6
H28	岩手県	1	2	1
H29	大阪府	1		2
H30	北海道 釧路市	2		
R元	北海道 帯広市	移転就農		
R元	茨城県	2		
R元	中国	2		
R2	北海道 札幌市		1	1
R4	北海道 釧路市	4		
R4	栃木県	3		

担い手宿泊研修センター・担い手宿泊施設

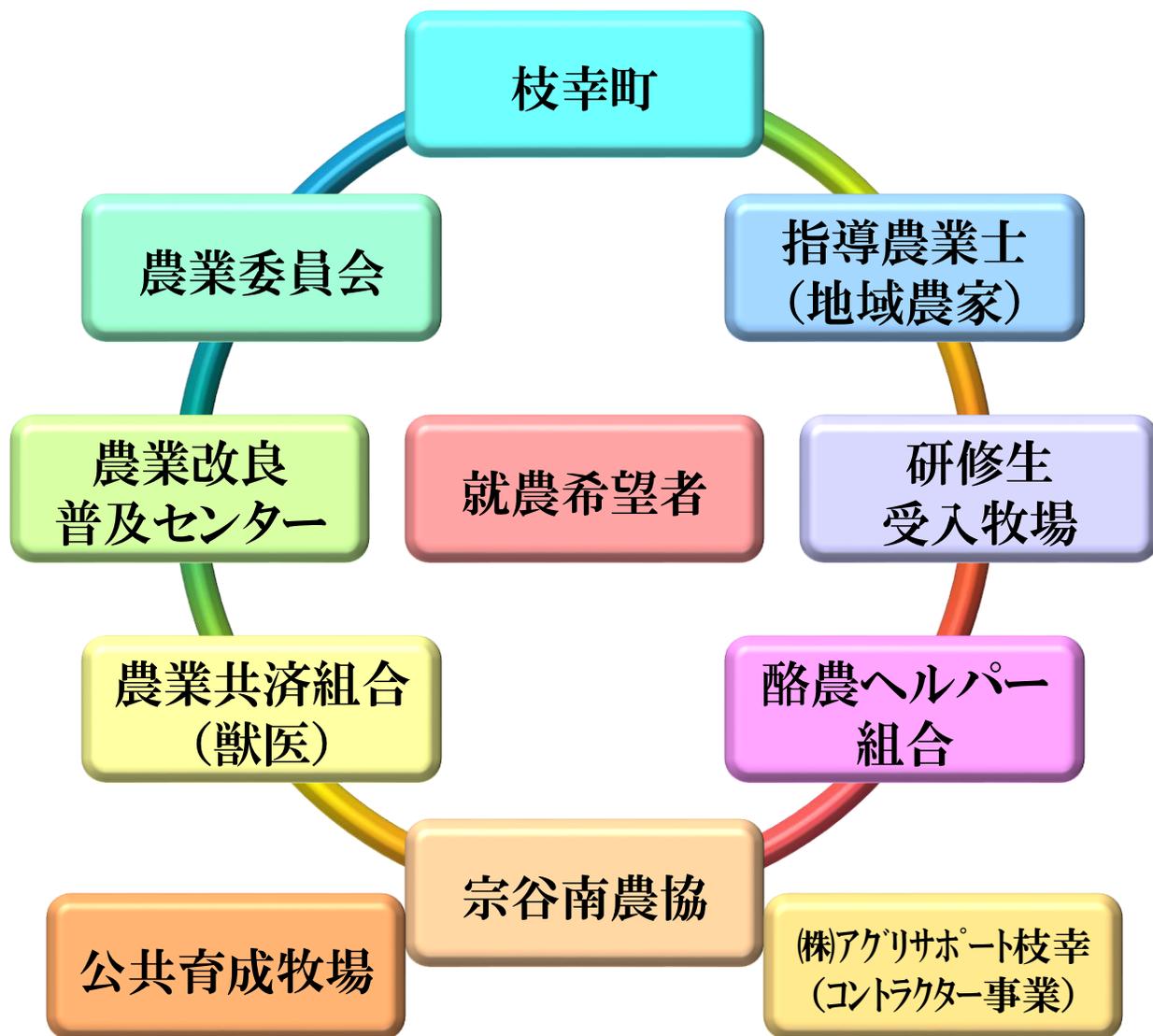
■宿泊研修センター



■担い手宿泊施設



枝幸町の就農サポート体制



- 座学研修（9月～4月）※農繁期除く
- 基礎的な知識・方法などの理論学習（月1～2回専門家による講義）
- 【協同組合組織/乳牛飼養管理全般/家畜衛生/搾乳/草地管理/農業経営】

担い手対策

個別農家
(離農または離農予定者)



将来構想策定
(経営中止計画)



新規就農者



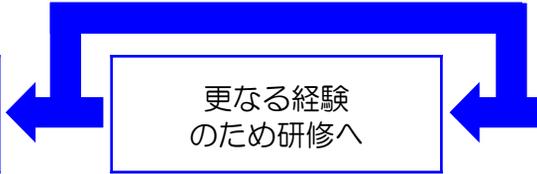
- H11~R2
新規・移転就農者 20組
- R4年(予定)
新規就農者 2組
- R3年
研修生 8組

担い手対策【町・農協・農業推進連絡協議会】

【新規就農者確保の取り組み】
「新・農業人フェア」等への参加、就農者誘致促進セミナーの地元開催、オール宗谷の取り組みとして農業系大学へ訪問しフェアを開催



H28年~R4年まで8組が新規就農 現在2組が研修中



個別農家 従業員



酪農ヘルパー利用組合



酪農ヘルパーや個人牧場、法人牧場などで従業員として経験を積んだのち就農

町内各研修先
で研修が可能

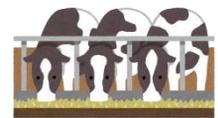
研修生受入農家



コントラクタ



大型生産法人



公共育成牧場



枝幸町の就農奨励制度

枝幸町就農者誘致特別措置条例により、単身就農が可能。

この条例は、乳量によって1,000万円を上限とした変動交付制度で、最初の1、2年目は150万円ずつ交付し、3～5年目は乳量に応じた額が交付となる。

目標生産高（生産乳量） （トン／年）	年交付額 （万円）	限度交付額 （万円）
400トン未満	0	300
400トン以上	30	400
500トン以上	60	500
600トン以上	100	600
700トン以上	130	700
800トン以上	160	800
900トン以上	200	900
1,000トン以上	230	1,000

JA宗谷南 就農研修制度

- 対象者 15歳以上～概ね40歳未満の方で、
 - ・農業経営者になることに、強い意志を有している方
 - ・当町で就農を目指す方
- 研修手当 月額150,000円～200,000円（家族構成による）
 - ・研修期間は1年～2年
 - ・研修・実習時間は概ね8時間
- 休日 週1回（農繁期等季節により変動有り）
- 宿泊先 担い手宿泊センター
 - 家賃 ・世帯者用 20,000円/月（水道光熱費込み）
 - ・単身者用 15,000円/月 ※食事は自炊となります
- 就農された方には、乳牛導入代金として100万円を助成します。

■ お問い合わせ先 ■

宗谷南農業協同組合 営農部（担当 山本 直人）

TEL : 0163-62-1711

携帯電話 : 080-1973-0653（就農相談専用）

: 080-8289-5940（就農相談専用）

FAX : 0163-62-2228

E-mail : jakeinou@eagle.ocn.ne.jp

枝幸で農業を始めてみませんか

枝幸町就農者誘致促進セミナー

毎年「枝幸町就農者誘致促進セミナー」を開催しています。

新規就農はもとより、移転就農まで様々な事例の発表や関係機関からの情報提供、また懇親会では、枝幸町の美味しいものを食べながら他大学の生徒との交流や地元農業者、農業関係企業の方々とのお話ができます。

セミナー前後に、町内で研修も開催しますので、是非この機会に「北海道枝幸町」に来てみませんか。

なお、参加された方には最大3万円を上限とした交通費の助成を行っておりますのでご利用ください。

■開催日　：毎年8月中旬

■開催場所：うたのぼりフォレストピアホール
(北海道枝幸町歌登南町)



枝幸町の主な農業施設

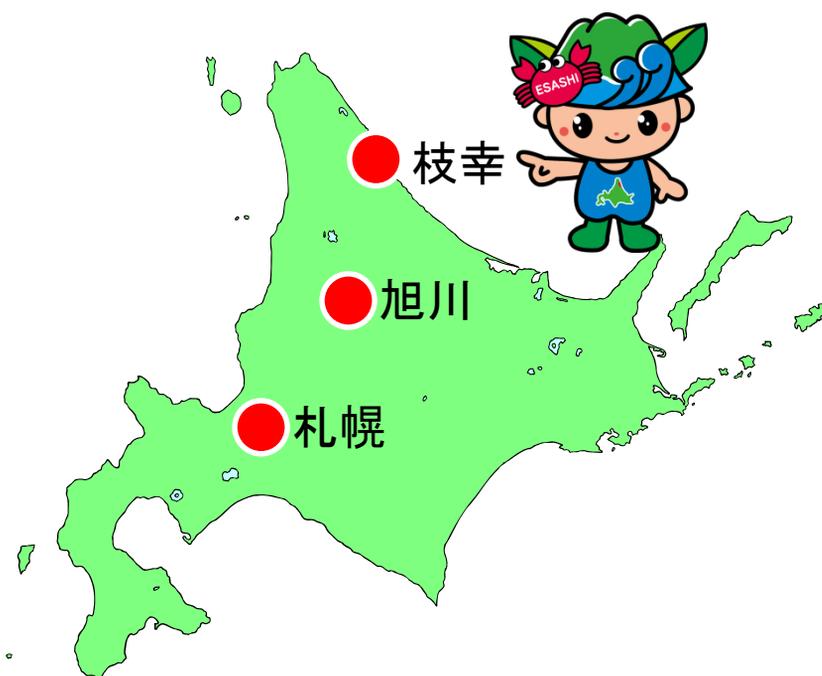


枝幸町公共育成牧場



ファームAYNI(アイニ)

枝幸町へのアクセスは



【飛行機】

- 新千歳空港—稚内（空路）約1時間
- 東京/羽田空港—稚内（空路） 約1時間55分
- 東京/羽田空港—紋別（空路） 約1時間50分
- 東京/羽田空港—旭川（空路） 約1時間40分

【自動車】

- 旭川—枝幸（180km） 約3時間（※士別剣淵IC利用）
- 紋別—枝幸（ 90km） 約1時間30分
- 稚内—枝幸（130km） 約2時間30分
- 札幌—枝幸（300km） 約4時間30分（※士別剣淵IC利用）

【バス】

- えさし号（札幌～枝幸）※札幌発は大通バスセンター
所要時間：約5時間（1日1便）
- えさし号（旭川～枝幸）※旭川発はJR旭川駅前発着
所要時間：約3時間30分（1日2便）

北海道枝幸町への就農のお問い合わせは

◆枝幸町地域担い手育成センター（枝幸町農林課）

TEL 0163 - 62 - 1359

mail : norin@esashi.jp

〒098-5892

北海道枝幸郡枝幸町本町916番地

◆宗谷南農業協同組合営農部

TEL 0163 - 62 - 1711

mail : jakeinou@eagle.ocn.ne.jp

〒098-5891

北海道枝幸郡枝幸町幸町8121番地3

ご不明な点がありましたら、
お気軽にお問い合わせください。

